## 事務事業評価シート

評価年度 平成29年度 対象事業年度 平成28年度

所属· 担当者氏名 保健部 介護保険課 介護支援事業係 岩永 久子 評価責任者 (担当課長) 介護保険課長 村岡 司朗

## 1. 事務事業の種類

① 事務事業の名称		介護保険事業(認定事務) ② 整理番号 02220302-						
③ 第4次総合計 画の施策の体 系	章	心豊かな市民・教育・福祉						
	節	安心と健康、生きがいのある福祉社会の実現						
	項	高齢者福祉の充実						
	号	要介護者や要支援者が安心な暮らしづくり						
④ 関連する個別計画		大和高田市介護保険事業計画及び高齢者福祉計画 ⑥ 事務の種類 自治事務						
⑤ 根拠法令・条例等	等	介護保険法、大和高田市介護保険条例、大和高田市介護認定審査会規則						

## 2. 事務事業の概要

<ul><li>① 目的</li></ul>	被保険者が介護保険制度で介護サービスを利用するためには、認定審査を受けて、要支援1~
(何のために)	要介護5のいずれかの認定結果を得ることが必要なため。
② 対象 (誰・何を対象として)	第1号被保険者及び第2号被保険者
③ 手段	毎週2回、介護認定審査会(1班5人の委員で、6班制)を開催し、要介護認定申請者の要介護度
(どのようなやり方で)	を決定している。
④ 成果 (どのような効果を得ようと しているのか)	被保険者が、介護サービスを利用するため、必要な要介護度を決めることにより、適正な介護サービスの種類と量を選択できる効果をもたらす。

3. 投入された年間総事業費及び人件費の推移 ※概算人件費は「人件費計算シート」による (単位:千円,人)

		平成25	年度	平成26	年度	平成27	'年度	平成28	年度	平成29年	度
<ol> <li>直接事業費</li> </ol>			5,700		5,700		5,700		5,700	(予算)	
② 概算人件費		(1.20)	8,922	(1.20)	8,762	(1.20)	8,797	(1.20)	8,539		
	一般職員(職員数)	(1.20)	8,922	(1.20)	8,762	(1.20)	8,797	(1.20)	8,539		
	嘱託職員(職員数)										
	臨時職員(職員数)										
③ 合	計(①+②)		14,622		14,462		14,497		14,239		0
	定財源 支出金、市債など)										
(5) —;	般財源 (③ - ④)		14,622		14,462		14,497		14,239		0

4. 評価指標

種類	指標名	指標の算出方法等	実 績 値						
生知	相 惊 名	相保の昇山刀伝等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
活動指標	① 認定件数		2,968 件	3,063 件	2,994 件	3,273 件			
1日/示	2								
成果指標	<ol> <li>認定率</li> </ol>	認定件数/認定申請件数	94 %	96 %	97 %	95 %			
	2								
効率	① 認定1件あたりのコスト	事業費/認定件数	1,920 円	1861 円	1904 円	1741 円			
指標	2								

5. 項目別評価

5. 項目別計画		
評価の視点	3段階 評 価	評価の根拠
①妥当性 (目的及び市の関与は妥当ですか)	A	介護保険法において「審査判定業務を行わせるため、市町村に介護 認定審査会を置く」と規定されており、実施主体は、市となる。また、 大和高田市介護認定審査会規則で事務内容を定めており、関与等 は、妥当である。
②有効性 (成果は向上していますか、向上して いない場合向上のために改善の余地 はありますか)	A	要介護認定申請件数は、増加傾向にあり、介護保険制度が市民に受け入れられていることを証明している。かつ、認定審査会の公平性も維持できている。
③効率性 (コスト・受益者負担は適切ですか、 不適切な場合改善の余地はありま すか)	A	審査会委員報酬は、1人1回あたり12,000円であり、県下12市の中では、平均的である。審査会1回あたりの審査件数は、30~40件であり、コストは効率的である。

6. 今後の方向性 A 現状のまま継続、B 見直し(重点化、縮小、統合など)のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判 定	具体的な改善・見直しの内容(「B 見直しのうえ継続」 の場合に限る。)							
	□ 人件費の重点化□ 予算の重点化 □ 事業の縮小 □事業の統合 □実施内容の変更 □ その他							
A								

7	2次評価	A 現状のまま継続、	p 目古 l	(番占化	縮小 統合など)	のうえ継続	○ 休止	D 完了・ 廃止
/ .	<b>乙次計Ⅲ</b>	A 況1人U) 本 本 11小元、			かい、かし なとし	ひょう オーボル・ボスト		

判定	具体的な改善内容・改善計画(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)					